

予算決算委員会民生福祉分科会会議記録

1. 日 時	令和元年9月6日
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	大西基雄、向井千尋、小島政行、河南芳治、前田えり子、森本富夫
4. 市部局	○市民生活部 ○保健福祉部
5. 会議に付した事件	<p>議案第67号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号） 議案第70号 令和元年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第1号） 議案第68号 令和元年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 議案第69号 令和元年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）</p> <p>9:30 開会</p> <p>大西座長 挨拶</p> <p>(開会)</p> <p>日程第1、議案第67号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）</p> <p>市民生活部</p> <p>■清掃センターより、補正予算書に基づき説明</p> <p style="text-align: center;">— 質疑なし —</p> <p>■地域コミュニティ課より、補正予算書に基づき説明</p> <p style="text-align: center;"><主な意見></p> <p>向井委員 公民館管理費に関し、城東ライオンズクラブ50周年記念として、城</p>

東公民館の庭園を整備するとのことであるが、その内容を説明されたい。

市民生活部 庭園の芝生化されていない一部分に芝生を貼ろうとするものである。

向井委員 城東公民館については、子育てふれあいセンターの利用者があることも踏まえ庭園を全面芝生化しようとすることも理解できるが、一方でこの庭園は、枯山水をイメージしてつくられたものであるとも聞いている。そうした地域の声は、把握しているのか。

市民生活部 庭園の通路は、碎石が敷かれているところがあり、転倒すると怪我をする恐れもあることから、寄付者である城東ライオンズクラブの意向も踏まえて整備しようと考えている。

■ 市民協働課より、補正予算書に基づき説明

<主な意見>

森本委員 消費者行政推進費に関し、市民が消費者トラブルに巻き込まれないように対策マニュアルを追加購入するとのことであるが、最近の消費者からの相談はどのようなものか。

市民生活部 最近では、事前に入金したものの商品が届かないといったインターネット販売に係る相談が多い。

■ 人権推進課より、補正予算書に基づき説明

— 質疑なし —

■ 市民衛生課より、補正予算書に基づき説明

— 質疑なし —

保健福祉部

■ 長寿福祉課より、補正予算書に基づき説明

— 質疑なし —

日程第2議案第70号 令和元年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第1号）

■長寿福祉課長より、補正予算書に基づき説明

＜主な意見＞

- 前田委員 介護給付費準備基金積立額はいくらになるか。
保健福祉部 98,021,596円である。
向井委員 見込みより多く積立てることはできているのか。
保健福祉部 高齢者の推移や必要サービス量を見込み策定した第7期計画が平成30年度から始まった。給付費の30年度決算額は、29年度決算比較で大幅な伸びがなかったため、第7期の1年目は見込みより多く積立てることができたといえる。
- 向井委員 高額医療合算介護サービス費の増額が今の時期になった理由は。
保健福祉部 高額介護医療合算介護のサービス費の支給について、国保連合会によって市民の介護保険負担と後期高齢医療の1年間の負担額を算定している中、例年のスケジュールであれば、年度末に支払いができるよう通知がされているが、昨年国保連合会の後期高齢医療部門のシステム改修等があり、国保連合会の事務処理の遅れたことにより、国保連合会からの支給額決定通知がこの5月になったためである。

日程第1、議案第67号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

■健康課より、補正予算書に基づき説明

＜主な意見＞

- 小島委員 妊娠出産に関して、昨年度と比べて妊婦の方は少なくなっているのか。
保健福祉部 出生数については、平成30年度は246名、平成29年度は260名程度であったことから、1年間で20名程度減少している状況である。これまでは、約300名程度の出生数が続いていたが、ここ数年は300名に届いていない状況である。今年度は妊娠届が多く、8月には28名の出生があったことから、今年度は少なくとも維持あるいは増加する見込みをもっている。妊娠出産包括支援事業の返還については、平成30年度に始まった産婦の健診についての利用者数が5,000円の補助をしているものの周知が十分ではなかったことや診察として保険適用で支払われたことが原因であり、出生数と返還金が生じたことに関しては、直接は関係がないと思われる。

■社会福祉課より、補正予算書に基づき説明

<主な意見>

向井副座長 障害者福祉費に関し、障害者外出支援事業について、今年度の利用状況は。

保健福祉部 申請者数に変化はないが、月当たりの利用件数が増加している。

前田委員 障害者総合支援法給付事業について、65歳以上になり、介護保険での対応となったことによって、これまで利用できていたサービスが制限されることはあるのか。

保健福祉部 以前は一律で介護保険の対応となっていたが、現在は個別の状態に応じて、サービスを利用することができる。新たに65歳になる方については、65歳になる半年前に個別のケース会議を開き、今後の適切なサービス利用について検討している。

議案第68号 令和元年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

■医療保険課より、補正予算書に基づき説明

<主な意見>

小島委員 国民健康保険財政に関し、繰越金の詳細を説明されたい。

保健福祉部 平成30年度決算によって、約1億5,300万円程度の余剰金があり、そのうち約5,300万円を県に返還し、残りが約1億円となっている。そして、この約1億円のうち、半分を基金に積み立て、残りを翌年度に繰越すことになる。

小島委員 余剰が発生した要因は何か。

保健福祉部 交付金が前年度と比較して増額していたことに加え徴収率の上昇や給付費が平成29年度比で横ばいであったこと等も要因として考えられる。

小島委員 県への返還金が多く発生したことの要因は。

保健福祉部 平成30年度から国民健康保険の財政運営が広域化された中、初年度ということもあり県からの交付金が多くあったと推察する。

小島委員 給付費が横ばいになったことの要因は。

保健福祉部 被保険者数の減少も要因の一つとして考えられる。

森本委員 今田診療所の医師の退職について可能な範囲で説明されたい。

保健福祉部 体調不良が理由で退職されているが、その代わりにささやま医療センターの医師にきていただき、これまで通り診察できるよう対応している。

森本委員 診療所は機能しているとの認識でよいか。

保健福祉部 今までどおり運営できている。

日程第1、議案第67号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

■医療保険課より、補正予算書に基づき説明

— 質疑なし —

議案第69号 令和元年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

■医療保険課より、補正予算書に基づき説明

— 質疑なし —

■意向確認

議案第67号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

— 修正・反対等の意見なし —

議案第68号 令和元年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

— 修正・反対等の意見なし —

議案第69号 令和元年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

— 修正・反対等の意見なし —

議案第70号 令和元年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第1号）

— 修正・反対等の意見なし —

■その他
大西座長

（閉会）

向井副座長 挨拶

16 : 23 閉会